



お茶の水JAZZ祭 '08

日 時 / 2008年1月27日(日) 午後5時開場・5時半開演
会 場 / 明治大学アカデミーホール
☎03-3296-4337

主 催 / お茶の水JAZZ祭実行委員会 ☎03-3588-8100 (ノヴェンバーイレブンス)
協 賛 / 共栄火災海上保険株式会社・石井食品株式会社
後 援 / 千代田区・神田古書店連盟・お茶の水茗溪通り会・明治大学校友会
協 力 / 明治大学楽友会・スイングジャーナル

ごあいさつ



千代田区長
石川 雅己

本日ここに、お茶の水JAZZ祭が盛大に執り行われるにあたりお祝いを申し上げます。

お茶の水の街は、かつては大学と古書店に象徴される文教・文化の街としてのイメージでしたが、近年は駿河台通りの数多くの楽器店や靖国通りのスポーツ用品店などの進出により、活発な若者が集う街としても魅力ある地域になっています。

今回、この街全体の更なる活性化を目指して、地元明治大学軽音楽クラブOBであり、音楽や映画関係で幅広い活躍をされている宇崎竜童さんが発起人となりこのJAZZ祭が企画され、本日の開催に結びつきました活動に対し、地元区長として感謝申し上げますとともに、大成功を祈念するものでございます。

既にこの周辺では、商店街のお茶の水茗溪通り会が中心となって、年々規模も拡大しているスケッチやフリーマーケットで賑わう「お茶の水アートピクニック」がありますが、このイベントにも昨年、宇崎さんとそのお仲間によるデキシーランドジャズバンドが友情出演され、たくさんの方に楽しんで頂くことが出来ました。

今回のお茶の水JAZZ祭がきっかけとなって、大勢の方々の賛同と関心を集め、街全体のお祭りに育ってくれたら、どんなに素晴らしいことでしょう。是非、これから回を重ねていただき、様々な知恵と工夫を出し合い、古本まつりやスポーツ祭りと連携し、音楽部門も一体となった、お茶の水の街全体が揺れ動くようなイベントに育てて戴きたいと希望します。

千代田区としても、まちの活性化には出来る限りの応援をさせて戴きたいと考えております。

結びに、このJAZZ祭に大変なご苦勞をされました宇崎さん始め、この企画の実現にご協力いただきましたボランティアの皆様方の活動に敬意を表し御礼申し上げます。



お茶の水JAZZ祭実行委員会 総合プロデューサー
宇崎 竜童

昔から神田・お茶の水という町には文化の匂いが漂っている。天井まで高々と積み上げられた古書や専門書。この町に来れば求めていた書物は必ず見付かる。書店の立ち並ぶ町。エレクトリック、アコースティックなインストゥルメンツは、ヴァンテージからニューカマーまで全てを網羅する楽器の町。ヤングからシニアまで、世代を問わず受け入れる懐の深い町。ときめく町、輝く町、憩いの町、真剣勝負の町。

我々は、この町で学業の傍ら読書や音楽を楽しんできた。そして、この町でJAZZの腕を磨いた学生時代。多くの手練れのプロ・ミュージシャンを輩出した明治大学軽音楽クラブ、BSSO、メランコリー・キャッツ、ジャミング・ホット・セブン。楽友会の呼びかけでバリバリのJAZZ MENが集結しJAZZで、この町、神田・お茶の水にお礼参りをする。これが「お茶の水JAZZ祭」なのだ。

私は、この祭りに途方もないドデカイ夢を描いている。世代を超えたJAZZ MENがSTAGE上で、肩を組みながら火花を散らしJAZZを愛する人も、JAZZを知らない人も楽しいひと時を過ごす祭り。この町に暮らす人、この町に通う人をも巻き込んで、一夜、お茶の水はJAZZ TOWNと化する…そんな夢を描いている。

しかも、「第一回」と銘打つからには当然、二回も三回もあるという事だ…いや、それ処か、十回、百回と回を重ね、町と人と音が一体化する…そんな夢だ。OLD JAZZ、NEW JAZZ…他ジャンルとのコラボ。懐かしい音、新しい音…プレイする人だけでなくオーディエンスにも発見があるに違いない。「思いつき」を「ひらめき」に昇華するのは、我々と皆さんのエネルギーだ。本日、明大アカデミー・コモンで何が起ころ?野暮なクエッションは御無用!

祭りだよ祭り…JAZZに一体何が出来るのか見届けたくないか!!

御茶の水

「お茶の水」は神田川を挟む湯島と神田駿河台の両岸一帯の通称であり、駅名や、橋、学校名でよく目にはするが、実は地図にはない地名である。名前の由来は、時の将軍（家康とも家忠とも）この辺りの湧き水が素晴らしいということで、お茶の水に献上させたことからそう呼ばれるようになったようである。

現在ではもう名水の湧いていた場所はなくなっているが、お茶の水という地名は通称として人々にいまだ親しまれている。昔高林寺という寺があり、鷹狩の帰りに寄った将軍が、庭の名水で茶をのんで以来将軍家御用の茶の水にしたところから地名がおきる。高林寺が駒込に移った後も、御茶の水の地名だけが残った。神田川は元和3年（1617）駿河台を堀割って通したものであるが、伊藤綱宗が万治2年（1659）に拡張してからは仙台堀ともいわれ、駿河台の断崖の辺りを御茶の水堀といった。漢学者たちは、御茶の水では和臭があって面白くないと、茗溪または小赤壁などといって風流がっていた。北岸には湯島聖堂・昌平坂学問所があり、一代の碩学が教授となり、天下の秀才があつまって勉強した所である。ここは昔、ほととぎすや蛭の名所であった。御茶の水の碑はJR御茶ノ水駅西口前にある。



ニコライ堂

ニコライ堂は正式名称を「日本ハリスト正教会教団復活大聖堂」や「東京復活大聖堂（教会発行のリーフレットにはこうある）」といい、1872(明治5)年東京に日本ハリストス(キリスト)正教会を設立したギリシア正教会大主教イワン＝デミトロヴィチ＝カサーツキン(修道名＝ニコライ)の名に由来している。1884～1891(明治17～24)年にかけて建設された。

関東大震災で一度崩壊し、現在の形になったのが1929(昭和4)年。1962年に国の重要文化財に指定されている。

現在も通常の教会として機能しており、中には無料で入ることができる(2003年3月現在)。



聖橋

神田川は三鷹市井の頭池を水源とし、隅田川にそそぐ総延長25.48Kmの一級河川である。二代将軍徳川秀忠の時代に神田上水が整備され飲料水の供給の他、物資の運搬などにも大きな役割をはたしていた。

河川名は、現在の駿河台付近が神田山と呼ばれていたことに由来する。その神田川にかかる橋の一つが聖橋である。関東大震災後の帝都復興事業の一環として、1927(昭和2)年に完成され、湯島側の湯島聖堂と駿河台側のニコライ聖堂を結んでいることから、聖橋と名づけられた。

ニコライ堂とともにしばし日本にいることを忘れてしまいたいような西洋建築物だ。聖橋のたもとがJR御茶ノ水駅である。

(千代田区「史跡と観光」より)



明治大学アカデミーホール

明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン内
東京都千代田区神田駿河台1-1

■JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩3分
■東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

第一部

大隅・百々・安カ川スペシャルトリオ (ゲストvo 安富祖 貴子)

Drum 大隅 寿男 Piano 百々 徹 Bass 安カ川 大樹

Vocal 安富祖 貴子

スペシャルゲスト

Tenor sax 竹内 直

世代を越えた明治大学出身の3人が初共演スリリングで温かい演奏をおとどけます。ゲストに明大出身の竹内直が登場し素晴らしいテナーをおとどけます。そして昨年ジャズ界に華々しくデビューした沖縄出身のシンガー、安富祖貴子も登場! 熱いステージを展開します。どうぞお楽しみください。

大隅寿男

第二部

トークショー (宇崎 竜童、阿木 燿子)

第三部

近藤 和彦ビッグバンドwith鍵田 真由美・佐藤 浩希

alto sax 近藤 和彦、萱生 昌樹
tenor sax 小池 修、三木 俊雄
bari sax 宮本 大路
tp エリックミヤシロ、奥村 晶、佐久間 勲、高瀬 龍一
tb 中川 英二郎、片岡 雄三、パット・ハララン
b.tb 山城 純子
piano 秋田 慎治
bass 納 浩一
drums 大坂 昌彦

フラメンコ舞踊家 鍵田 真由美・佐藤 浩希

「鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団」

矢野吉峰、柏麻美子、東陽子、望月陽子、工藤朋子、中山あづみ、高木栄子、末木三四郎、佐藤聖子、鈴木百々子、小西みと、関祐三子、矢藤千鶴子

Percussion 大儀見 元 Guitarra 斎藤 誠 Guitarra 大島 紳之 Cante ホセ・ガルベス

第一回お茶の水JAZZ祭開催おめでとうございます。この記念すべき第一回に私がリーダーとなるビッグバンドで出演させていただけることはたいへん名誉なことであり宇崎さんをはじめ関係各位の皆様へ深く感謝いたします。私は日ごろからJAZZという音楽でビッグバンドとコンボの隔たりのようなことを感じる事がとても疑問でした。そこで今回は私がいつもいろいろな形で一緒に演奏活動させていただいている、そして最も信頼し深い音楽性をもっている方々にお集りいただきました。メンバーはそれぞれがリーダーであり名実共に日本のトッププレイヤー、いや日本が世界に誇るプレイヤーたちです。そして宇崎さんを通じて知り合ったフラメンコの鍵田さん、佐藤さんとは以前共演させていただいてそのすばらしい実力と芸術性に感動し、ジャンルは違えど同じような視線で創作に取り組まれていると感じてぜひ一緒に何か作ってみようという事で今回JAZZとフラメンコの融合をやってみるようになりました。今日の実験でどのような化学変化が起こるのか、どうぞ体験してみてください。我々もその体験を楽しみにしています。

近藤和彦

総合司会：二井 康夫



丸善の情報サイト「丸善インフォメーション」には、ブックアドバイザーによる書評やエッセイが綴られた『ブックアドバイザー通信』や、幅広い分野からゲストを招いてインタビューをする『ゲストルーム』、さまざまなランキングが見れる『丸善ランキング』、イベントやギャラリーを紹介する『催し物情報』、丸の内ならではの最新情報をお伝えする『今週の丸の内本店』、本にとまらない丸善独自の目で選んだおすすめ商品のご紹介をする★『丸善のおすすめ商品』など、魅力的なコンテンツが満載です。

知的好奇心満足度◎の丸善情報サイト

丸善インフォメーション

検索



宇崎 竜童

京都府生まれ。1973年にダウン・タウン・ブギウギ・バンドを結成しデビュー。『港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ』『スモーキン・ブギ』など数々のヒット曲を生み出すとともに、作曲家として、山口百恵さん等の多数のアーティストへ楽曲を提供。映画音楽では『駅-STATION』（東宝1982年）『社葬』（東映1989年）などで日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。近年では、担当した劇場音楽にて、第13回、読売演劇大賞の優秀スタッフ賞を受賞。他アーティストへの楽曲提供やプロデュースを始め、映画・舞台音楽の制作、俳優等、幅広く活動中。今回の「お茶の水JAZZ祭'08」の総合プロデューサー。



阿木 燿子

横浜市出身。宇崎竜童と結婚後、彼の率いるバンド『ダウン・タウン・ブギウギ・バンド』のために書いた曲「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」で作詞家デビュー。その後、宇崎と共に山口百恵の曲の作詞・作曲を手掛け、山口百恵の黄金時代を支える。近年はライフワークとして、近松門左衛門の「曾根崎心中」とフラメンコを融合させたステージ「FLAMENCO曾根崎心中」の公演をプロデュースし、上演を重ねている。2004年3月にはスペイン・ヘレスにて、日本人初のフラメンコフェスティバルにも同公演参加。「TANNKA 短歌」で初の映画監督に挑戦。小説やエッセイ等、幅広い活動を続けている。また赤坂の一本木通りでライブビストロ「ノヴェンバー・イレブンス1111」を経営。2006年、紫綬褒章を受章。

今回の「お茶の水JAZZ祭'08」にはトークで参加。

遊び方、自由自在。

▲ ア ミ

思いたっ | たら、さあパーティ。

03- **3291-0247**

大隅・百々・安カ川スペシャルトリオ



Drum 大隅 寿男

福井県出身、明治大学政治経済学部卒。アートレイキー&ジャズメッセンジャーズの来日公演を見てジャズに感銘を受け、ジャズドラムを始める。1969年、大学を卒業後プロドラマーとし活動を開始。2005年、スイングジャーナル誌が主催する、日本ジャズ界に最も貢献した人物に贈られる「第30回南里文雄賞」を受賞し、近年はM&Iから5作のアルバム「ジュビレーション」(2002年)、「グレートフル」(2003年)、「リジョイス」(2004年)、「オンザロード」(2005年)、「ニューディール」(2007年)を立て続けに発売している。また作曲家 宇崎竜童のレコーディングにも参加、共演も多く、活動も幅広い。スイングの明快さ、ビートの切れ味はもちろん、本人の温かい人柄は聴く人に感動を与え、多くの人々から熱い支援を得ている。



ゲストボーカル

Vocal 安富祖 貴子

沖縄の魂をファンキーに謳いあげる。4才よりクラシック・ピアノを習い始め、大学のピアノ科でクラシックを学ぶ。卒業後、沖縄に戻りピアノ講師をつとめるかたわら、リゾートホテルで弾き語りの演奏活動始める。2004年よりギタリスト知念嘉哉とコンビを組みジャズ・スタンダードにも手を染める。2005年3月、ジャズ・ヴォーカリストとしての道を提案され、ベーシスト井上陽介に出会い、夢として培ってきたR&Bヴォーカルの魅力をあわせもつ新しいタイプのジャズ・ヴォーカリストを目指し、ジャズ・フィールドでの活動を誓う。2006年3月、ファースト・アルバム『魂/Kon』を発売。デビュー作にもかかわらずスイング・ジャーナル誌選定ゴールドディスクを獲得。今、最も話題のジャズ・シンガーである。



Piano
百々 徹



Bass
安カ川 大樹

スペシャルゲスト



Tenor sax
竹内 直

東京 白金

トランクルーム プリンスマイツ

ホテルの部屋がトランクルームになりました

広い! 安心! そして 格安です!

(株)プリンスマイツ 専務取締役

URL <http://www.hotelmate.co.jp/> 和泉 寿時 (S46年卒/DX.BS)



Saxophone **近藤 和彦**

1964年生、山梨県出身。'86山野ビッグバンドコンテストにて最優秀ソリスト賞を受賞、在学中よりプロ活動を始める。三原綱木とニューブリード、米米クラブ、宮間利之&ニューハード等に所属後、松岡直也バンド、神保彰バンド、渡辺貞夫BIG BAND、菊地ひみこバンド、高橋達也リユニオン、オルケスタ・デ・ラ・ルス等に参加。現在、自己のグループのほか、熱帯JAZZ楽団、小曾根真No Name Horses、エリック宮城EMバンド、守屋純子オーケストラ&セクステット、佐山雅弘クロニクルなどビッグバンド、コンボに関係なく多数のレギュラーグループ、各種セッションなどでライブハウス、コンサートに出演。いろいろなアーティストのホーンアレンジやツアーサポートなど、ジャンルにとらわれない幅広い活動をしている。サクスをフィル・ウッズ、ディック・オートに師事。

- alto sax 近藤 和彦、萱生 昌樹
- tenor sax 小池 修、三木 俊雄
- bari sax 宮本 大路
- tp エリックミヤシロ、奥村 晶、佐久間 勲、高瀬 龍一
- tb 中川 英二郎、片岡 雄三、パット・ハララン
- b.tb 山城 純子
- piano 秋田 慎治
- bass 納 浩一
- drums 大坂 昌彦



alto sax
萱生 昌樹



tenor sax
小池 修



tenor sax
三木 俊雄



bari sax
宮本 大路



tp
エリックミヤシロ



tp
奥村 晶



tp
佐久間 勲



tp
高瀬 龍一



tb
中川 英二郎



tb
片岡 雄三



tb
パット・ハララン



b.tb
山城 純子



piano
秋田 慎治



bass
納 浩一



drums
大坂 昌彦



フラメンコ舞踊家 **鍵田 真由美・佐藤 浩希**

振付家、演出家。「鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団」主宰。鍛錬された肉体と表現力で高い評価を得、フラメンコの新たな可能性に挑む作品を次々と発表。2001年の初演以来再演を重ねている「FLAMENCO曾根崎心中」を2004年にフラメンコの故郷であるスペイン、ヘレスで上演し、日本とスペインの国境を越えた作品と絶賛される。2005年には平成16年度文化庁芸術祭大賞受賞作「ARTE Y SOLERA 歓喜」をスペインで上演。伝統的なフラメンコと真正面から向き合ったこの作品に、観客の惜しみない拍手とフラメンコ関係者・マスコミの高い評価が与えられた。河上鈴子スペイン舞踊新人賞、文化庁芸術祭新人賞(鍵田)、日本フラメンコ協会特別奨励賞(佐藤)、文化庁芸術祭優秀賞、河上鈴子スペイン舞踊賞、平成18年度 財団法人松山バレエ団第17回顕彰「芸術奨励賞」等受賞暦多数。

Percussion **大儀見 元** Guitarra **斎藤 誠** Guitarra **大島 紳之** Cante **ホセ・ガルベス**

「鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団」

矢野吉峰、柏麻美子、東陽子、望月陽子、工藤朋子、中山あづみ、高木栄子、末木三四郎、佐藤聖子、鈴木百々子、小西みと、関祐三子、矢藤千鶴子



Percussion **大儀見 元**



Guitarra **斎藤 誠**



Guitarra **大島 紳之**



Cante **ホセ・ガルベス**

Trumpets Trombones

XO

楽器作りにおいて

一番大切な事は何なのか？

それは長く積み重ねた歴史を重んじ、

現代の様々な音楽に融合し、


さらに、奏者の魂に語りかけ心揺さぶる楽器を

作ることはないか・・・

XOトランペット、

トロンボーンシリーズ

カタログのご請求は・・・

XOトランペット、トロンボーン発売元  **グローバル**

ホームページ <http://www.global-inst.co.jp> メール info@global-inst.co.jp

お茶の水JAZZ祭実行委員会

総合プロデューサー：木村 修史

プロデューサー：大隅 寿男／近藤 和彦

舞台監督：宇佐美 敏彦／青木 秀夫

制作：岩井 健郎／浅野 博之

実行委員長：中村 眞一

副実行委員長：尾崎 桂一郎／石井 久義／高橋 一郎

実行委員：駒村 利之／能勢 博／野口 忠志／笠原 昭男／弘田 充／石川 安雄／荒井 和男／後屋敷 敏治／椎谷 健二／和泉 寿時／
二井 康夫／渡辺 則行／駒形 隆／津田 二郎／長瀬 琢磨

地域実行委員：中野 智之(神田古書店連盟 会長)

瀬川 昌輝(お茶の水茗溪通り会 会長)

事務局：浅野 博之 E-mail asano@risingdragon.jp TEL 03-3588-8100 (ノヴェンバー イレブンス内)

おいしさは、引き算。たとえば、ミートボール。

削除

鶏肉、玉ねぎ、パン粉(小麦・砂糖) 削除

ショートニング・イースト・脱脂粉乳 削除

食塩・イーストフード 削除

削除

ごん米粉、砂糖、しょうゆ、生姜汁、食塩、水あめ、コショウ、揚げ油(菜種油)、

削除

ソース(砂糖、トマトペースト、醸造酢、みりん、しょうゆ、ごん米粉、

削除

菜種油、食塩、チキンパウダー、

削除

調味料(マヨネーズ等)、香辛料) 削除

10年前のミートボールの原料

原材料に卵・乳を使用しません。

素材を生かす 無添加調理

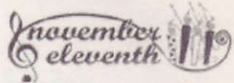
おべんとろ 10個入

肉は国産若鶏100%使用

要冷蔵 10%OFF 09.01.10

食物アレルギーの原因となる食材を、わかりやすくまとめました。

「無添加調理」に取り組んで10年。わたしたちのやり方は「引き算」です。



ライブ&レストラン

november eleventh 1111

ノヴェンバー・イレブンス1111

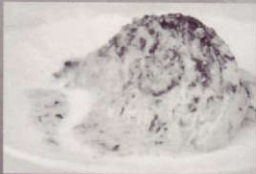
阿木燿子・宇崎竜童の経営する、赤坂のライブ&レストラン。
JAZZをはじめ、ポップス、フラメンコ、邦楽などノンジャンルのライブと、
イタリアン・フレンチを基本とした本格的な創作料理をお出しています。
コンセプトは「大人が楽しめる、音楽も食事も主役の店」。
今年で12周年目を迎えるアットホームな空間で、
こだわりの料理と上質な音楽をゆったりとお楽しみください。



阿木 燿子



宇崎 竜童



キャベツステーキ



11thサラダ



アサリのトマトスパゲッティーニ

◆出演(予定)アーティスト

2005年1月、スイングジャーナル誌が主催する、
日本ジャズ界に最も貢献した人物に贈られる「第
30回 南里文雄賞」受賞ドラマー・大隅寿男
(2/18)、ニューオーリンズで現地のミュージシ
ャンと交流を持ち、ニューオーリンズ名誉市民
に登録されるクラリネット奏者・後藤雅広(2/13)、
1989年、日米同時発売されたアルバム「フォロ
ー・ミー (FOLLOW ME)」で、米ラジオ&レコ
ード誌のコンテンポラリー・ジャズ部門の16位に
チャート・インするという日本人女性ヴォーカ
リストとして初の快挙を成し遂げたヴォーカ
リスト伊藤君子(次回出演未定)、2007年度 第23
回日本ジャズヴォーカル大賞を受賞、ロン・カ
ーターとも共演しているヴォーカリスト山岡未
樹(2/27)など豪華アーティストが多数出演!
その他、ヴォーカルSHIHO・ギター横田明紀
男のジャズユニット”fried pride”や、ギタリス
ト小沼ようすけ、異色の嘉門達夫などバラエテ
ィに富んだラインナップとなっております。
オーナーの宇崎竜童自身も年に3回LIVEを行
います。



〒107-0052

東京都港区赤坂3-17-8 都ビル2F

☎03-3588-8104

<http://www.risingdragon.jp/>

november11th@risingdragon.jp

詳細は順次HPにて公開しております。

不定休にて営業しておりますので、毎日、生演奏をお楽しみいただけます。

※アーティストにより、メールマガジンにて先行予約を行っております。

他、期間限定でプレゼント企画などもあり!